

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい社会 公民）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習得すべき知識及び技能を、具体的な社会的事象や多様な資料の活用を通して身に付けられるよう配慮がなされている。 ・ 現代社会が抱える課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が養われるよう配慮がなされている。 ・ 持続可能な社会の実現に向けてできることを考える「未来にアクセス」を設け、社会参画の力を育成できるよう配慮されている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで1時間を原則とし、平易で具体的な記述を用いたり、漫画やイラストなどを掲載したりするなど、生徒の日常生活や発達段階にあった学習となるよう配慮がなされている。 (2) 単元の導入では、街のイラストやシミュレーションを利用した活動が設定されており、生徒の意欲を喚起し、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がなされている。 (3) 各章の終結部に思考ツールを用いて考察する「まとめの活動」を設けて学びを深められるようにし、「みんなでチャレンジ」では対話的な活動を効果的に実践できるよう工夫がなされている。 (4) 学習の過程の各所に「見方・考え方」のマークを設け、社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点で捉え、学びを深められるよう配慮がなされている。 (5) 資料部分の背景に色を付けて本文との区分けを明確にしたり、資料の図番号を本文にも付けたり、二次元コードを定位置に掲載したりする等、必要な情報が探しやすくなる配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校や地理・歴史分野の学習の成果を生かし、既習内容や3分野を関連させた展開ができるよう配慮がなされている。 (2) 単元全体を貫く「探究課題」を立てる導入活動から、1時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める追究へと、問いを軸にして単元を構想できるよう工夫がなされている。 (3) 各見開きページに、「チェック」「トライ」コーナーを設け、説明・要約などで学習内容をまとめる学習活動を行うことによって、思考力、判断力、表現力等を高められるよう配慮がなされている。 (4) 環境・エネルギー、人権・平和、防災・安全などのテーマを設け、具体的な事象を取り上げることで、現代社会の課題を理解し、解決しようとする態度を育てられるよう配慮がなされている。 (5) ICT機器を活用して利用するコンテンツが用意され、該当箇所に「Dマーク」を付し、学習効果を高める工夫がなされている。 (6) 各章の最後に、学習内容を整理する「ふり返りの活動」や「基礎・基本のまとめ」を設け、思考力、判断力、表現力等と知識及び技能の定着を確認できるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入の活動をもとに「探究課題」を設定し、1時間ごとの学習課題を追究する課題解決的な学習になるよう工夫がなされている。 ・ 多様な思考ツールを掲載しており、学びを振り返って思考を整理したり、考えを構造化したりできるような工夫がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	教育出版（中学社会 公民 とともに生きる）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開きページ2ページごとの「確認」や「公民の技」のコーナーにより、知識及び技能の定着が図られるよう配慮がなされている。 ・ 資料を基に議論や論述など言語活動に取り組む中で、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう配慮がなされている。 ・ 今日的な課題が反映された事象を基に課題解決に取り組むことで社会の一員としての自覚を高められるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 授業の展開や学習の見通しを掴みやすいように見開き2ページで構成されている。見開きごとに「学習課題」が示され、問いを基に学習を振り返ることができるよう構成されている。 (2) 興味・関心が高まるよう導入や追究の中心となる資料が配置されるとともに、その資料を読み取る視点が「LOOK！」に示されているため、1時間の学習の見通しがもてよう工夫がなされている。 (3) 各時間に設定される「表現」に示された課題に取り組むことで、対話などの表現活動を通して学習した内容が深まっていくよう工夫がなされている。 (4) 視点を変えたり視野を広げたりできるコラム「公民の窓」を随所に配置し、多面的・多角的な見方を身に付けられるよう工夫がなされている。 (5) 文字はユニバーサルフォントを使用している。図やグラフは色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインを取り入れている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章ごとに導入ページ、本時ページ、特設ページ、振り返るページで構成され、学習の見通しや振り返りの学習活動に取り組みやすい配列になっている。 (2) 各章を複数の節に分け、それぞれに問いを設定することで、内容のまとまりごとに指導できる単元構成になっている。 (3) 特設ページ「TRY」に取り組むことで、人々の姿や考えから地域社会のためにできることを考え提言する学習活動を展開することができる。 (4) 身近な社会の課題について人々の姿や営みなど具体的な事例を扱うとともに、生徒と同年代の中高生の活動を扱うことで社会と主体的に関わるきっかけにできるよう工夫がなされている。 (5) 資料を丁寧に読み取りながら考察できるように「THINK」のコーナーが設けられ、生徒が自ら学べるように工夫がなされている。 (6) 各章末のまとめでは、知識及び技能の定着を図るとともに、思考ツールを活用してまとめたり、未来について考えたりすることで、3観点を総合的に高められるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現のために何ができるかが全体のテーマになっていて、各時間に関連するSDGsが示されている。 ・ 13ある「特設ページ」は今日的な課題をテーマにしながら持続可能な社会に向けて考え、表現する活動が設定されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">帝国書院(中学生の公民 よりよい社会を目指して)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味もてる導入から学習の振り返りまで構造化された展開により基礎的・基本的な知識の定着が図られるよう配慮されている。 ・ 各時間に言語活動が位置付けられており、繰り返し行うことで思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮がなされている。 ・ 学習した内容を活用する学習活動を多く設けることで、主体的に社会に関わる態度を養うことができるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 本文は具体的な例示や社会的事象の背景などが平易な表現で書かれている。図や写真への参照指示や重要な語句の解説が記載され、効率よく学習できるよう工夫がなされている。 (2) 章ごとに「学習の前に」でイラストを読み解く活動を通して章の学習のイメージをつかみやすい。章や節ごとに問いが段階的に設けられることで思考が深められるよう工夫がなされている。 (3) 各時間の導入資料は大きな写真や資料を配置し、対話活動を通して学習課題につながることで興味・関心を高めることができるよう工夫がなされている。 (4) 「アクティブ公民」では、追究の際に働かせる「現代社会の見方・考え方」が明示され、複数の資料を読み解きながら社会の課題の解決策について考察を深められるよう配慮がなされている。 (5) 文字はユニバーサルデザインフォントが、資料はカラーユニバーサルデザインに配慮した色調が用いられている。図表の周囲をグレーで囲い、同一資料であることの判別がしやすくなっている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的な内容を習得した上で、未来に向けて、社会参画を促すよう配慮がなされている。 (2) 「章の問い」、「節の問い」、各時間の「学習課題」と問いが連続的に配置され、各時間の振り返りが節の問いにつながる単元構成になっている。 (3) 全編を通じて、「現代社会の見方・考え方」を働かせられるよう工夫され、章の振り返りでは自分の考えを整理し、意見交換をして考えを深められるよう配慮がなされている。 (4) 「未来に向けて」では今日的な課題を多く扱い、写真やグラフから社会の課題に気付くことで、SDGsへの意識を育むとともにその後の社会への意識付けができるよう工夫がなされている。 (5) 写真、さし絵、統計資料などをバランスよく配置し、動画などにつながるコンテンツから資料を活用できるよう工夫がなされている。 (6) 章末のまとめでは図表や思考ツールを用いた学習事項の整理が位置付けられ、まとめがしやすい構成になっている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な社会参画が大きなテーマとなっており、実社会に興味もてるよう身近な事例が多く扱われている。 ・ 社会参画を疑似体験できるシミュレーション型の課題や対話を通して学びを深められる工夫がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>日本文教出版（中学社会 公民的分野）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話題性のある事例や、幅広い視野からの教材を掲載し、「情報スキルアップ」では技能の習得ができるよう配慮がなされている。 ・ 「現代社会の見方・考え方」を働かせて、多面的・多角的に思考、判断、表現する学習が展開できるよう工夫がなされている。 ・ よりよい社会生活を営むための教材や学習活動により、主体的に社会に関わろうとする資質・能力を育くめる配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページに1時間の授業内容を簡潔にまとめ、地理や歴史で学んだことを関連させながら追究したり、最後の「確認」で考察したことを説明したりできるよう工夫がなされている。 (2) 各編冒頭の「学習のはじめに」では、身近な社会的事象の漫画を使って興味・関心を高め、「明日に向かって」「公民+α」のコーナーでは、学びを深められるよう工夫がなされている。 (3) 「思考ツール」を随所で紹介したり、「チャレンジ公民」のコーナーでは話合いの場面を提示したりして、自ら問題を発見し、思考力、判断力、表現力等を育成するよう工夫がなされている。 (4) 各章の問い、節の問い、見開き2ページごとに学習課題がそれぞれ設定されており、問いの連続で学びを進められるよう配慮がなされている。 (5) 本文にはユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句へのルビふり、二次元コードの位置の統一、カラーユニバーサルデザインを基にした配色など、視覚的な配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻頭に示したSDGsの関連内容を随所に掲載し、持続可能な社会の形成に関わる意識を高められるよう配慮がなされている。 (2) 編末の発展課題では、既習事項を活用して現代社会の課題について考察、構想し、レポート作成を通じて社会参画の態度を養えるよう構成されている。 (3) 毎時間の学習課題と、その解決のために働かせる「現代社会の見方・考え方」が示されており、1時間ごとに着目するポイントを意識しながら学習が展開できるよう工夫がなされている。 (4) SDGsをはじめ、法教育、主権者教育、消費者教育、キャリア教育、金融教育など、様々な教材や課題が提示され、主体的に社会に関わろうとする資質を育めるよう配慮がなされている。 (5) キャラクターの吹き出しや模式図などを多く掲載し、抽象的な事象を具体的にイメージさせるための工夫がなされている。 (6) 章末の「まとめとふり返り」では学習事項が確認できるようになっている。また、最終第4章ではレポートの作成例を示し、作成の視点やまとめ方の要点が明確になるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会の諸課題に対して、「社会的な見方・考え方」を働かせて追究することができるよう配慮がなされている。 ・ 抽象的な概念を模式図などで具体的に示し、その仕組みや制度と自分のかかわりがイメージできるよう工夫がなされている。

発行者名 採択基準	自由社（新しい公民教科書）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要な事項について複数の単元で重ねて学習し、段階的に習得することができるように構成されている。 ・ 話合いや文章にまとめる活動を設定し、各単元の学習に対する考えをさらに深め、表現力を高められるよう配慮がなされている。 ・ 日本の伝統や先人たちの工夫に関するコラムが多く、自国を愛しその平和と繁栄を図ることにつながるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 見開き2ページの文章を、内容をコンパクトに整理してまとめおり、基礎的・基本的な学習内容を捉えやすくなるよう配慮がなされている。 (2) 見開き2ページの上部にある資料を、大きく順序よく配列し学習課題を捉えたり、解決したりするための根拠となるよう工夫がなされている。 (3) 「やってみよう」のコーナーでは、学んだことを基に話し合ったり、さらに調査したりする活動を促しており、現代社会の課題や特色に対して主体的に学習できるよう工夫がなされている。 (4) 「アクティブに深めよう」で、今日的な諸課題について調査・研究をすることを通して思考力を高め、社会との関わり方を考えられるよう構成されている。 (5) 見開き2ページの上部に大きく写真やグラフ、図などが提示されており、資料を活用しやすくなっているとともに、興味・関心を高められるよう工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 基礎的事項を厳選し体系的に整理することで、単元構成が分かりやすくなるよう配慮がなされている。 (2) 各章で学習したことを「学習のまとめと発展」で整理し、三つの問題に取り組むことで、順序よく学習内容を理解できるよう構成されている。 (3) 「アクティブに深めよう」で、学習したことを基に話し合ったり、文章に表現したりすることを通して、社会的事象の特色や関連、意味を深く考えられるよう構成されている。 (4) 「もっと知りたい」のコラムで、安全保障や裁判員制度などいくつかの社会的事象を取り上げ、生徒自身が現代社会の課題にどう向き合っていくのかを考えられるよう配慮がなされている。 (5) 「ミニ知識」のコーナーで学習内容の補足資料が示され、学習課題の把握や解決の手がかりになるよう工夫がなされている。 (6) 見開き2ページの最後に提示されている「ここがポイント」が、1時間の学習内容が箇条書きで端的にまとめられ、授業の振り返りがしやすいよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめに100～400字で説明したりまとめたりする活動が設定され、思考力、判断力、表現力等の向上につながる。 ・ 日本の伝統や先人たちの工夫に関するコラムや資料を通して、公民としての資質・能力が育まれるよう配慮がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>育鵬社（新しいみんなの公民）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の形成に向けて、必要な知識及び技能の習得につながる学習内容になるよう配慮がなされている。 ・ 社会の諸問題を自分事にしていくために、生徒が生活目線で考え、判断し、学びを深められるよう配慮がなされている。 ・ 豊富な言語活動を設け、生徒が主体的に社会形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習課題をつかむ・調べる・まとめるための資料が見開き2ページにまとめてあり、1時間の学習の中で課題を設定、追究、解決できるように配慮がなされている。 (2) 各章の最初に「入り口」、最後に「これから」というページを設け、各章で学ぶことや学んだことを生活と関連付け、興味・関心をもったり、思考を深めたりできるよう工夫がなされている。 (3) 「入り口」「これから」「やってみよう」のページでは、考えたり、話し合ったりする活動を通して、主体的かつ対話的に追究できるよう工夫がなされている。 (4) すべてのページに「探究」のテーマ例を掲載したり、「やってみよう」「学習を深めよう」で具体性や発展性のある内容を扱ったりすることで、学びが深まるよう配慮がなされている。 (5) 見開きの最初にセリフ入りのイラストを使ったり、図版資料に通し番号を付けたりすることで、必要な資料を確認しやすいよう配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な社会的事象を各章でバランスよく取り上げ、自分の生活と関連付けて考えられるよう配慮がなされている。 (2) 「入り口」のページに、なぜ学ぶのか、何を学んだり考えたりするのかを示すことで、単元の学習の見通しをもちながら、主体的に学習できるよう工夫がなされている。 (3) 「やってみよう」のページでは、学習したことをもとに小集団による話し合いやシミュレーションの活動などを位置付け、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮がなされている。 (4) 様々な社会的事象を取り上げ、話し合ったり、構想したりする活動を通して社会と自分の接点に気づき、自ら現代社会の課題に向き合っていくことができるよう配慮がなされている。 (5) 図版資料に通し番号を付けたり、語句の説明を簡潔にまとめたりして、指導する際に具体的に示せる工夫がなされている。 (6) 章ごとに「学習のまとめ」を設定し、単元で学んだことを生かして話し合ったり、まとめたりする活動を通して、学びを振り返り、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な社会的事象を基にした導入とまとめを設定し、現代社会を自分事としてとらえ、社会参画の資質を育む工夫がなされている。 ・ 言語活動例を随所に示し、生徒の興味・関心に応じて、主体的、対話的に学習を進展させていくための工夫がなされている。